

目次	● 全国初！「湖」での「みなとオアシス」認定	1
	● 第25回酒田日本海寒鱈まつり	2
	● 東北のイベント紹介	2

青森県



青森県十和田市

## 全国初！「湖」での「みなとオアシス」認定 ～「みなとオアシス十和田湖」登録証授与式～

東北地方整備局 港湾空港部

東北地方整備局では、平成23年7月18日の「海の日」に、全国で初めて湖を『みなとオアシス』として認定しました。平成23年9月23日には、「みなとオアシス十和田湖」の登録証授与式を青森県十和田市にある十和田湖休屋港にて行いました。東北地方において、これまで「みなとオアシス」を10の地域や施設を認定しました。

「みなとオアシス十和田湖」は東北地方では11番目の認定となります。



【登録証授与式】

来賓挨拶の後に主催者を代表して津島政務官から社団法人十和田湖国立公園協会会長である小山田久十和田市長に「みなとオアシス」登録証が、同じく同協会副会長である細越満小坂町長に「みなとオアシス十和田湖」パネルが授与されました。

登録証授与式の最後に地元、十和田保育園児によるアトラクションとして「よさこい」の演舞で登録証授与式を締めくくり、会場となった十和田湖に観光で来られた人々からも大きな拍手がおこるなど盛況に終わりました。

当日は、「十和田湖ecoシーン2011」のイベント開催日と重なり十和田市の名物であるバラ焼きやヒメマス汁などが無料で振る舞われるなど会場周辺は賑やかな雰囲気につつまれました。ただ、登録証授与式当日は、あいにくの雨模様となりましたが、出席された皆様からは非常に良い登録証授与式とのお言葉をいただき、主催者としても思い出に残る登録証授与式となりました。



【みんなで記念撮影】



【地元保育園児によるよさこい演舞】



【地元名物「バラ焼き」】

## 「第25回酒田日本海寒鱈まつり」

山形県 酒田市 商工観光部 商工港湾課

1月21日（土）と22日（日）の両日、『第25回酒田日本海寒鱈まつり』が酒田市中心市街地をメイン会場に「みなとオアシス酒田」の「さかた海鮮市場」「みなと市場」などの各会場で開催されました。

初日の21日は二十四節気「大寒」にあたり、冷たい風が吹く中、訪れた皆さんは熱々の寒鱈（かんだら）汁を求めて長蛇の列をつくり、真冬の日本海の恵みを堪能していました。

「寒鱈（かんだら）」とは、厳冬のこの時期、産卵のために回遊してくる脂たっぷり、丸々太った真鱈（まだら）の地元での呼び方です。

その寒鱈を身の部分はもちろん内臓までまるごと鍋に入れ、味噌仕立てで味わうのが「寒鱈汁（または どんがら汁）」で、冬の庄内の風物詩となっています。

今回は、「食の都庄内」親善大使の太田政宏シェフ、古庄浩シェフが鱈を使ってそれぞれ「鱈のパイ包みクリームソース仕立て」「特製ブイヤベース」を限定販売しました。

初めての試みでしたが、早々に完売となり大好評でした。この他にもNPO法人「パートナーシップオフィス」と株式会社平田牧場が共同開発した「福幸（ふっこう）巻き」も好評で、販売コーナーでは人だかりができていました。



【寒鱈まつりにぎわい状況】



【名物「寒鱈(かんだら)汁」】

## 東北のイベント紹介

## 【十和田市】 十和田湖冬物語2012

十和田湖冬物語特設会場で開催される北東北最大級の雪祭。

期間中はステージイベントの他、青森・秋田の地産品の数々が味わえるゆきあかり横丁、かまくらBAR、酒かま蔵、雪のすべり台、十和田湖畔温泉足湯など施設が目白押し！

また、夜には冬花火も上がり、冬の十和田湖畔を盛り上げます。

- 開催期間：2012年2月3日（金）～26日（日）
- 開催場所：十和田湖畔休屋（特設会場）  
青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休み屋486
- 駐車場：約600台（無料）

## 【お問い合わせ先】

十和田湖冬物語実行委員会 TEL0176-75-2425  
URL <http://www.towadako.or.jp/>

**是非みなさんお出で下さ**



【雪のゲート】  
雪と光のゲートがお客様をお迎え致します



【乙女の像ライトアップ】  
冬物語期間中は雪灯籠が設置され幻想的な雰囲気湖畔を彩ります。



【冬花火】  
もっとも人気のあるイベントのひとつが冬花火！  
凜と静まりかえった夜空に咲く大輪の花火は必見です！

## 【編集・お問い合わせ】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局  
国土交通省 東北地方整備局  
港湾空港部 広報・振興担当  
TEL:022-716-0003 FAX:022-716-0017  
E-mail:info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp